

## 大学生の能登地域における民俗行事参加による地域活性化効果

学生団体名：学生援農隊 あぐり（石川県立大学）

参加学生：市川広幸・生方杏美・梅川栞・折戸美樹・坂下政直・志摩雄介・伊達彩香  
・野村育代

### 1. 地域活動の概要

能登地域では多くの農村伝統行事が今も継承されています。しかし、一方で過疎化による人手不足でお熊甲祭りなどの伝統行事の維持が危ぶまれています。地域ではこれまでその対策として都市農村交流活動による伝統行事振興を試みてきましたが、規模の拡大とリピーターの確保、伝統行事の宣伝が課題でした。今回は学生が七尾市中島町で行われる伝統行事の参加を募集しました。そして数多くの学生が参加して、これからの継続的な活動の拡大には何が必要かということについて考えました。

### 2. 活動参加への経緯

「学生援農隊あぐり」は、農業の振興と農村の活性化を目的として地域貢献活動などのボランティアや耕作放棄地を利用した農業体験、白山森作り学校への参加を行うサークルです。今回は去年採択されて行った能登での伝統行事への参加を引き続き行いました。参加を持続することで地域に愛着を持ち、地域貢献に関心を持つ人が増えるきっかけになればいいと思い「どぼんこ・さるたひこ地域協議会」による提案課題「大学生の能登地域における民俗行事参加による地域活性化効果」に参加を申請しました。

### 3. 地域活動の内容

七尾市中島町で行われる虫送りとお熊甲祭りの参加者を学内でポスターや呼びかけなどで広く募集しました。そして、虫送りに大学生 8 名と社会人 1 名、お熊甲祭りに大学生 5 名の参加者を得ることができました。

**お祭り参加の日程表**

お祭り名	開催日時	開催場所
お熊甲祭り	10/10(土) 10/11(日)	七尾市中島町
お越中祭り	10/12(月)	七尾市中島町
お越中祭り	10/13(火)	七尾市中島町
お越中祭り	10/14(水)	七尾市中島町
お越中祭り	10/15(木)	七尾市中島町
お越中祭り	10/16(金)	七尾市中島町
お越中祭り	10/17(土)	七尾市中島町
お越中祭り	10/18(日)	七尾市中島町

お問い合わせ先: あぐり (Aguri)   
 Eメール: aguri08@pu@yahoo.co.jp   
 URL: http://www.pu-u.ac.jp/aguri/

**お祭りに参加してみませんか?**

七尾市中島町

「お熊甲祭り」は、能登中島の、由緒正しき、真夏の祭りの一つです。19の町がそれぞれ「お熊甲祭り」を主催し、大きな賑わいを築いています。しかし近年、過疎化により参加者が減少し、祭りを維持することが難しくなっています。そこで、七尾市中島町の学生が参加を呼びかけました。ぜひ、お祭りを楽しんでください。参加を希望する人は是非、地元の協議会に問い合わせください。

男性陣は法被を着て控旗担ぎ!! 力持ちをアピールして、気に入るあの子をゲット???

女性陣は浴衣を着て男性陣をサポート! うれしい気遣いと和の雰囲気、彼もメロメロ???

お祭り参加の日程表

お問い合わせ先: あぐり (Aguri)   
 Eメール: aguri08@pu@yahoo.co.jp   
 URL: http://www.pu-u.ac.jp/aguri/

実地日	参加人数	内容
6月13,14日	9人	虫送り・・・豊作祈願の行事
9月19日	5人	お熊甲祭り準備
9月20日	5人	お熊甲祭り・・・杵旗祭り

・ 6月13,14日 虫送り

七尾市中島町小牧で6月13日に行われる虫送りに石川県立大学の学生8名と社会人1名で参加しました。地元の話の話を聞くと、虫送りというのは歴史ある豊作祈願の行事で中島町では、昔から地域の伝統行事として盛んに行われていました。しかし最近では人手が少なくなっているとのことでした。私たちは、虫送りのメインである松明を地元の方たちと作り、祭りに参加しました。虫送りの後は地元の方たちと打ち上げを行い、地元のことについてや今年の虫送りのお話を聞きました。14日は小牧壮年団の方たちと釣りを行い七尾市の豊かな自然を楽しみました。



虫送り準備の様子



虫送り

・ 9月19,20日 お熊甲祭り

お熊甲祭りは毎年9月20日に行われ別名「杵旗祭り」「二十日祭り」とも呼ばれています。この祭りは天狗面をつけた猿田彦が鉦、太鼓に合わせて踊りながら祭りを先導し、集落の男が20mもある真紅の杵旗を担ぐ勇壮な祭りです。

七尾市中島町小牧地区として、私たち5名は神戸大学、神戸学院大学、星稜大学の学生たちとともに参加しました。19日は祭りの前日ということなので祭りで使う道具の準備をお手伝いしました。今年はおぐりをはじめ、中越・KOBE足湯隊（星稜大や神戸大、神戸学院大、NGO等）が参加したので2台の杵旗を出すことができました。祭り本番の20日は猿田彦を先頭に巨大な杵旗で町を練り歩き、加茂原で祭り1番の見せ場である島田くずしを行いました。



お熊甲祭り



島田くずし

#### 4. 今回の活動の評価

今回の私たちの行った活動はテレビや新聞などで紹介されました。テレビ放送においては、石川県だけでなく全国でも放送され中島町のことを広く紹介する機会になりました。新聞では北國新聞、北陸中日新聞、読売新聞、また七尾市などの広報にも紹介されました。このことによって県内の方々に中島町を知ってもらえることができたと思います。さらに中島町の魅力を伝えることで、来年のお祭りの参加者を増やすことにも繋がるのではと思います。

今回の祭りへの参加には、能登の豊かな自然と伝統行事がとても魅力的で印象に残ったという意見が多かったです。このことは能登のほかの地域へ PR できる点だと思っています。

#### 5. 課題

私たちは今回コンソーシアムの事業として参加しましたが、石川県立大学以外の学生や一般の方達の参加が課題だと感じました。この課題を解決するために次回からは七尾市の魅力をうまく伝える宣伝とネットなどを使った学外への参加者募集が必要だと思いました。またもし今回私たちがおこなった活動がコンソーシアムの事業でなくなった場合に移動費、宿泊費が学生の負担になるがそれでも人を集められるかというのが一番大きな課題に感じました。



来年は地域の人だけでなく今年一緒に参加した人たちとも交流を持つことで、継続した参加を目指したいです。

## 6. 感想

虫送りに参加した学生からは「太鼓のリズムに合わせて松明を振って練り歩く虫送りはとても綺麗で神秘的だった」、「初めての蛍の発見やとても綺麗な星空,豊かな海での釣りなど貴重な体験ができた」、「虫送りという行事を守っていきたいという思いに私も少しは関わられたかと思うと嬉しかった」などの感想を聞くことができました。

お熊甲祭りに参加した方達からは「地元の方たちの仲がいいのはこのような行事で関係が作られるからだと思った」、「女性は参加できなくて残念だったが,男性のみのお祭りを見るのは初めてでとても迫力があって,地域独特のお祭りがあるのはとても魅力的だった」、「虫送りのときより地元の方と接する機会が少なく残念に思ったが初めてのことを多く知ることができたのでよかった」、「こういう祭りは初めてでとても楽しめ,また参加したい」などの感想がありました。

今回の事業はあまり人を集めることができませんでしたが,以上のように参加者の方達からは楽しめたという意見が多く寄せられました。能登の豊かな自然,伝統行事に触れることができ非常に貴重な体験ができました。来年度はもっとこのことをアピールし,学生等の若者は地域に活力を提供する。地域は地域資源を学生等に提供する。この関係をこれからも続けていきもっと多くの人数で来年の活動ができればいいです。